

平成27年度事務事業評価シート(平成26年度実績)

事務事業コード	020104050	予算コード	01054500	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	中学校介助事業			正規職員数 0.2	国庫支出金	有効性	A	介助が必要な児童生徒は年々増加している。様々なケースがあるためそれぞれに合った充実した介助を継続して推進する。	
担当課	学校教育課			嘱託職員数 0	府支出金	効率性	B		
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0.03	市債	妥当性	B		
	■要綱・要領			歳出(千円)	その他	受益者負担	該当なし		
	泉佐野市人権教育の基本方針			人件費総額 1,592	一般財源 11,821				
					減価償却費 0				
					事業費 10,229				
事務事業類型	運営事業	評価区分		フルコスト(千円)	11,821	緊急性	C	事務事業実施内容	
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	117	公的関与	A	介助員を配置する。	
対象				活動指標	H26実績	実施主体・委託化	A		
特定の市民		対象数	32	障害児介助員	10.0	他の事務事業との関連	A		
中学生の要介助者				外国人介助員	2.0	透明性	B		
事業の内容						財政健全化計画	該当なし		
中学校介助事業を以下のように実施している。						財政健全化の取組	該当なし		
①障害のある子どもに対する介助				成果指標	H26実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
②介助については、身辺自立ができていない、安全確保が困難である				要介助障害児	29.0				
教育的配慮の要する子どもに対しての措置である。				要外国人介助者	3.0				
③外国よりの転入生による受入のため通訳が必要となります。									
事業の目的				コスト指標	H26実績				
障害等で配慮の要する子どもへの身辺介助等をする。				介助者一人当たり経費	369,406.3				